

# IXP 100 SERIES

シングルドアアクセスコントロールシステム

SYSTEM 101 - IXP901-1-0-GB-XX



**USER MANUAL**



impro®



## ・ 重要なお知らせ

このマニュアルをできるだけ正確に作るために努力はしましたが、, Impro テクノロジーズ株式会社 (Pty)はすべてのエラーまたは手抜きに対する義務を負いません。このマニュアルに含まれているデータは、製品上で公表された他の情報に取って代わります。さらに当社は無断で製品およびマニュアルを修正するか改善する権利を持っています。

## ・ 保障

インプロテクノロジーズ株式会社(Pty)は、この合意の下で製品が出荷の日付から 3年の期間の間資料と技術の資料欠陥がなくなると保証します。顧客はそのような欠陥の発見の後に 1週以内に、個々のそのような欠陥を Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)に通知しなければなりません。この保証の下のインプロテクノロジーズ株式会社(Pty)の唯一の義務および責任は、修理するか交換することであるものとします。

インプロテクノロジーズ株式会社(Pty)によるリクエストに際して、不完全であると主張された製品あるいは部分は、顧客の費用負担で Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)に直ちに返されるものとします。交換された製品あるいは修理された製品、部分は、Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)費用負担で顧客に送られるでしょう。

誤用、事故、不注意、電力の失敗あるいは Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)で書かれた承認のない顧客による修正に従った製品あるいは部分のための保証は責任はないものとします。保証適格性の最終決定は Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)によってなされるものとします。保証クレームが任意の理由のために無効であると考えられる場合、顧客は、実行されたサービス、および返されたアイテムを扱い送る際に Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)によって必要とされた経費を課されるでしょう。

供給された置換部分あるいはオリジナルの保証期間になされた修理に関して、置換あるいは修理された部分の保証期間は、オリジナルの製品あるいは部分に関しての保証期間の終了で終了するものとします。

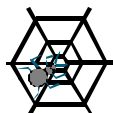
Impro テクノロジーズ株式会社(Pty)は製品がどこで使用されるか、あるいは、それがどのようにインストールされるかに対する管理を行っていないとともに、不調、設計、欠乏、インプリメンテーションあるいは任意の理由による、どんな間接の損害の義務も受理することができません。

Impro テクノロジーズは、接続可能かもしれないすべての標準にかかわらず、任意のサードパーティ製品とその製品のうちのどの接続も互換性を保証しません。すべての Impro 製品にサードパーティ製品を接続することは、Impro 製品の機能性を危険にさらすかもしれないし、それを動作不能にするかもしれません。

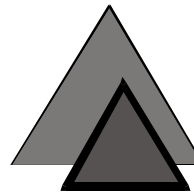
THE FOREGOING WARRANTY CONSTITUTES IMPRO TECHNOLOGIES (PTY) LTD SOLE LIABILITY AND THE CUSTOMERS SOLE REMEDY WITH RESPECT TO THE PRODUCTS AND IS IN LIEU OF ALL OTHER WARRANTIES, LIABILITIES AND REMEDIES EXCEPT AS THUS PROVIDED, IMPRO TECHNOLOGIES (PTY) LTD DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

この製品はインプロテクノロジー株式会社により設計され製造されています。

This product is designed  
and manufactured by:



(website)  
[http:// www.impro.net](http://www.impro.net)





impro®

Technologies (Pty) Ltd  
Reg No. 90 00674/07

 47 Gillitts Road  
Pinetown  
South Africa 3610

 P O Box 15407  
Westmead  
South Africa 3608

 (031)  
+27 31 700-1087

 (031)  
+27 31 700-1511

 (e-mail)  
impro@impro.net

# IXP 100 SERIES System 101 USER MANUAL

## 目次

重要なお知らせ .....	2
保障 .....	2
<b>イントロダクション.....</b>	<b>5</b>
このマニュアルの使用方法 .....	6
このマニュアルで使用される特別な用語.....	6
通常の記述 .....	7
システム記述 .....	7
<b>概観.....</b>	<b>8</b>
ドア・エントリー・ユニット(図1の中のアイテムA).....	8
ドアコントロールユニット(図1の中のアイテムE).....	8
ドアストライク/電磁錠(図1のアイテムB).....	8
開錠ボタン(図1のアイテムC).....	9
アラームパネル/サイレン(図1のアイテムH).....	9
12Vの鉛酸蓄電池およびAC変圧器(図1のアイテムF).....	9
システム初期値 .....	9
<b>運用モード.....</b>	<b>10</b>
ハードウェア・モード .....	10
侵入モード .....	10
アラームモード .....	11
アラームモード操作方法 .....	11
システムモード .....	11
通常モード .....	12
プログラムモード .....	12
通常操作 .....	13
ピンコード、理由コード、アクセスレベル .....	13
ピンコードモード .....	14
オペレーションについて記述するフローチャートの使用 .....	15
アラーム警報解除/スーパ-バイザ-によるアンロック.....	16
アラーム警報設定/スーパ-バイザ-によるロック.....	16
理由コードの使用 .....	16
タグ提示 - 警報設定 / 警報解除.....	17
タグ提示 - アクセス.....	17
誤ったピンコードの入力.....	17
ドア強制こじ開け / ドア開放放置 / ドア不開放.....	18
スペシャルファンクションモード(長時間キー押下).....	18
アラーム警報設定/スーパ-バイザーロック .....	19
ピンコード不使用 / 強制.....	19
ステータスLED中止 .....	20
タグ中断 .....	20
ドアロック / アンロック .....	21

ピソドの変更.....	21
AC 電源フェイル.....	21
<b>プログラミングモード .....</b>	<b>22</b>
一般的な編集機能 .....	22
タグ保有者の追加 – Command Code 01 .....	23
タグ 保有者の編集 – Command Code 02.....	24
タグ の置き換え – Command Code 03.....	25
タグ 保有者の削除 (テーブルエントリ番号がわかっている場合) – Command Code 04.....	25
タグ 保有者の削除(テーブルエントリ番号がわからない場合) – Command Code 05.....	25
タイムアウト – Command Code 06 .....	26
アラームモードの変更 – Command Code 07 .....	26
タグ の置き換え (古いタグ 使用可の場合) – Command Code 08.....	26
処理テーブルの削除 – Command Code 10.....	27
Relay#1 (タッチ) 駆動モードと時間の変更 – Command Code 11.....	27
Relay#2 (Alarm) ドライブモードと時間の変更 – Command Code 12 .....	27
リアルタイムクロックの設定 – Command Code 13 .....	28
ブラックリストタグ タイムアウト期間の変更 – Command Code 14.....	29
提示されたタグ のタイムアウト時間変更 – Command Code 15.....	29
キー入力タイムアウト時間変更 – Command Code 16 .....	29
アラーム準備完了入力センサー変更 – Command Code 17 .....	30
ブザー-音量の変更 – Command Code 18.....	30
理由コードの桁数変更 – Command Code 19 .....	30
ドア開放放置時間変更 – Command Code 20 .....	30
ドア不開放時間変更 – Command Code 21.....	31
AC 電源フェイルアラーム時間の変更 – Command Code 22 .....	31
理由コード要求変更 – Command Code 23 .....	31
スプッシュファンクションキー-押下時間の変更 – Command Code 24.....	32
キー押下が無いことによるタイムアウト時間変更 – Command Code 25 .....	32
解錠入力要求センサー変更 – Command Code 26.....	32
クイックタグ 設定 – Command Code 27.....	33
ピソドのみ設定 – Command Code 29.....	33
処理タイプ .....	33
設置担当者技術機能 .....	34
データーベースの削除.....	34
DEU の置き換え.....	35
工場出荷初期値の再設定 .....	35
DoorControlUnit(DCU)のファームウェアアップグレード.....	35
PCソフトウェアによる設定.....	35
タグ保有者記録 .....	35
Table 8 – ユーザータグ記録テーブル.....	36

## DIAGRAMS

Figure 1 : システム ロック アイテム.....	9
-------------------------------	---

## TABLES

Table 1 : DEU/PC 機能.....	6
--------------------------	---

Table 2 : システム フォルト設定.....	10
Table 3 : 侵入モード の操作.....	11
Table 4 : アラームモード 操作.....	11
Table 5 : 通常モード での LED/ブザー の表示.....	12
Table 6 : スペシャルファンクションキー.....	18
Table 7 : 処理タイプ.....	33
Table 8 : ユーザータグ 記録テーブル.....	35

## イントラクション

IXP 100 シリーズは、一つのドアを通る 500 人までのユーザのアクセスをコントロールするように設計された、高いセキュリティのアクセス・コントロール・システムです。

通常の機械的なキーの代わりに、有効なタグがユニットに提示される場合、ドアは外部から開くことができます。高度なセキュリティの特徴は、配線が干渉されても、外部のユニットが別のユニットで代用されても、外部からのドア・ラッチ操作を防ぎます。

タグを使用する利点はタグが失われる場合、システムから失われたタグの許可を取り除くことができるということです。また、ドア・ロックを変更する必要はありません。

追加セキュリティについては、システムは次のようにしています、タグを示すことに加えて、4桁暗証番号[ピノード]もアクセスが許可される前に、キーパッドによって入力される事を要求します。

3つのタグ保有者レベルは次のように供給されます。

レベル	制限
<b>ユーザ</b>	許可された時間内のみ入ることが出来る
<b>スーパーバイザ</b>	すべての時間内に入ることが出来る
<b>管理者</b>	スーパーバイザと同等。プログラミングも出来る

システムは3つの主要なコンポーネントを含みます:

- ・ ドアエントリーユニット Door Entry Unit (DEU).
- ・ ドアコントロールユニット Door Control Unit (DCU).
- ・ ハードウェアソフトウェア.

システムを使用することを容易にしておくために、様々な特徴を提供するために、ある高度な機能および設備はキーパッド・ユニットを使用してでは選択可能ではありません。これらの機能はPCソフトウェア・プログラムによってのみ選択可能です。

高度な設備が要求されない場合、典型的な装置については、PCの使用が必要でなく、デフォルト・セッティングを変更する必要がある場合キーパッド DEU を使用して、基礎的なセット・アップを実行することができます。

システムは、工場でのデフォルト機能を提供するようにプログラムされます。

Table 1 は、PC あるいはキーボード DEU を独力で使用して実行することができる、異なる機能を示します。

FUNCTION	DEU	PC
タグの追加・編集・削除	Yes	Yes
システムの基礎的な設定(例えばブザー-音量の設定)	Yes	Yes
短期間の 500 のイベントを記録する(最後の 500 イベント).	Yes	Yes
長期間のイベントを記録する	No	Yes
アドバンスドシステムパラメータの設定 (例 トランザクションタイプ)	No	Yes

Table 1 : ドアエントリーユニット(DEU)/PC(パソコン) 機能

### ・ このマニュアルの使用方法

このマニュアルは、IXP 100 アクセス・コントロール・システムのための全ての変更のシステム・セッティングにも必要とする情報を提供するでしょう。変更はすべて、あなたの建物のドアの外部にマウントされるキーボード・ドア・エントリー・ユニット(DEU)上でキーを押すことにより行なわれます。変更に対するシステムの反応は、視覚的に音響的に(DEU 中のブザーによって、DEU 中の光(LED)によって)示されます。

あなたが PC を持っていれば、これらの変更は PC にインストールされた IXP 100 シリーズ・ソフトウェアを使用して行なうことができます。このために PC を使用することがキーボードを使用するより容易になることを知るでしょう。PC ソフトウェアの使用は IXP 100 シリーズ・ソフトウェア・マニュアルに記述されています。

### ・ このマニュアルで使用される特別な用語

いくつかの特別な用語がこのマニュアルの中で使用されます。あなたの IXP 100 シリーズ・システムを操作するために、これらの用語に精通する必要があるでしょう。これらの定義を学習する必要はありません;必要なときに与えられた説明を単に参照することができます。用語は下に説明されます。

用語	記述
管理者	: スーパーバイザ(管理者)と同等。システム設定も出来る。
アラームパネル	: オプションの警報装置(アラームパネル)。IXP 100 システムに接続したもの
警報設定	: アラームシステムを動作できるように設定する
クライアントスタッフ	: システムのオーナー(会社)によって雇われた従業員
条件変更可	: クライアントによって変更できる。
デフォルト	: 操作のための工場設定。これはクライアントによって変更できる。
警報解除	: アラームシステムを動作しないよう設定。
フラグ	: 言葉「フラグ」は、関連するオペレーションが実行されるこ

用語		記述
		とを可能にして、条件が可能になることを示します。
機能	:	システムが実行することができるオペレーション。
侵入	:	無許可の入場。
パラメータ	:	異なる値にセットされる量(例えばモードまたはタイムの期間)。
タグ提示	:	DEU フロントパネル近くにタグを通すか保持する。
理由コード	:	アクセスの理由を示すコード。
スーパーバイザ	:	24 時間入ることが出来るタグ保持者 ( 管理者 ) 。
タイムパターン	:	入ることが出来る時刻
処理	:	タグの提示とこれに対するシステムの応答
処理バッファ	:	処理情報の記録
処理データ	:	処理情報
処理イベント	:	処理の検出
ユーザー	:	アクセスのみ許された人
許可タグ	:	以前にシステム・データ・ベースに入力されておりブラックリストされていないタグ

### **重要なお知らせ**

IXP 100 システムに精通するまで、セッティングに変更を加えるとシステムは変更する際に問題に遭遇するかもしれません。そうならば、あなたの地方の IMPRO 代理店と連絡をとってください。あなたの代理店詳細はあなたのシステムを設置したディーラーから得ることができます。 .

- ・ 通常の記述
- ・ システム記述

システムの設定方法と動作についてあなたは理解する必要があります:

この装置が最初にインストールされるときあなたの会社が必要とするシステム内容を確認してください。

- ・ タグ情報を変更することができます。
- ・ 要求するシステム・セッティングに任意の後の変更を加えてください。(言い換えれば IXP 100 システムを管理するか監督すること)。

このセクションは次の記述を提供します。

## 概観

図 1 はブロック図(システムの部分がどのように接続されるか示す図)。

### ドア・エントリー・ユニット(図 1 の中のアイテム A)

3つのタイプのドア・エントリー・ユニット(DEU)が利用可能です。しかし、このマニュアルは、IXP 100 システム 101(それはキーパッド・ドア・エントリー・ユニットを使用する)にのみ当てはまります。

キーパッド DEU は、下記の操作特徴を有します:

- ・ タグ検出可能
- ・ キーパッドはシステム・プログラミングに変更を加えるために使用されます。
- ・ キーパッドは暗証番号(PIN 番号)を入力するために使用することができます。
- ・ キーパッドは理由コードを入力するためにも使用することができます。
- ・ 信号音の異なるコンビネーションによってユーザに情報を示すブザー。
- ・ 光(LED)は、異なる長さ、異なる色に閃きユーザに情報を示します。

DEU およびドア制御装置(DCU)は互いに通信します。例えば、タグが DEU へ提示された場合、タグ ID は、DCU(それはそのタグがその時にアクセスできるかどうか決定するためにそのメモリを探索する)に送られます。その後、この情報は、DEU(その後、タグ提示者に伝えるために DEU ブザーおよび DEU LED は ON される)に例えば送られます、システムは提示者の入室を許可または却下するでしょう。

### ・ ドアコントロールユニット(図 1 の中のアイテム E)

このユニットはシステムのインテリジェントな部分です。それは、システムが機能する方法を管理するプログラムを含んでいます。このプログラムは、最も典型的な装置にふさわしい機能を提供するデフォルト・プログラムで工場にユニットにロードされています。デフォルト機能は、DEU(このマニュアルに記述されたもの)の中でキーパッドを使用して、あるいは、IXP 100 システムソフトウェア・ユーザ・マニュアルに記述されるような PC(図 1 の中のアイテム G)の上にロードした IXP ソフトウェアの使用により、変更することができます。

DCU は下記機能を提供します:

- ・ DEU からデータを受理し、DEU 中のブザーおよび LED のオペレーションをコントロールします。
- ・ ドア・ストライク/電気錠の操作をコントロールします。(図 1 の中のアイテム B)
- ・ 「解錠ボタン」(図 1 のアイテム C)を押すと DCU はドアストライク/電磁錠をオープンします。
- ・ ドアオープンセンサーを DCU にドアが開いたことを感知させるために接続できます。アラームパネルからのアラーム検知を DCU が感知するよう接続することも出来ます。(図 1 のアイテム D)。
- ・ システムは通常 AC 電源から電源を供給されます。(図 1 のアイテム I)

### ・ ドアストライク/電磁錠(図 1 のアイテム B)

IXP100 システムでコントロールされた特別なドアロック。



・ 解錠ボタン (図 1 のアイテム C)

解錠ボタン、それは通常ドアに近いポイントに位置し、安全な側からのドアのマニュアル操作を許可する。

・ アラームパネル/サイレン (図 1 のアイテム H)

あなたのシステムはアラーム・パネルあるいはサイレンのいずれかを含むでしょう。単純な侵入アラームが要求される場合、サイレンが設置されます。

・ 12V の鉛酸蓄電池および AC 変圧器 (図 1 のアイテム F)

これらのアイテムはシステムに電源を供給します。バッテリーは AC 電源が無くなった場合に、システムに電源を供給するために使用されます。

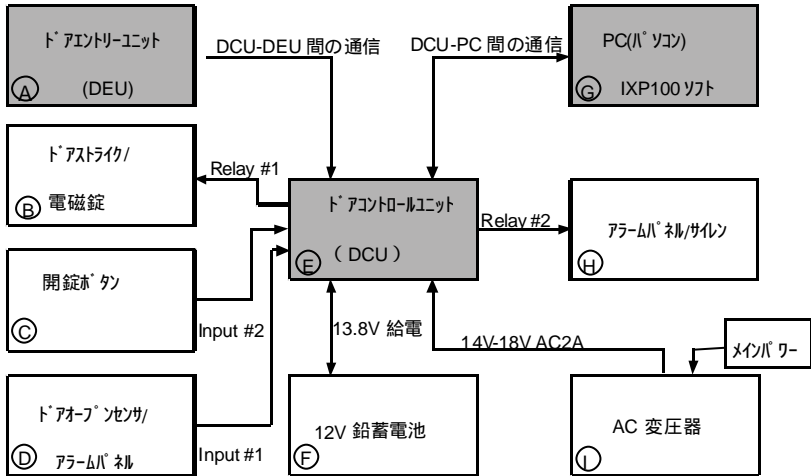


図 1: システムブロック図

・ システム初期値

システムは工場出荷初期値で出荷されます。これらの設定はユーザーが変更できます。

システム・デフォルト・セッティング	
パラメータ	設定値
AC 電源フェイルアラーム	5 分
アラーム無効	管理者およびスーパバイザのタグによる
ブラックリストタイムアウト時間	0030 (30 分).
ブザーボリューム	レベル 3.

システム・デフォルト・セッティング	
パラメータ	設定値
タイムパターン	24 時間/日, 7 日/週 アクセス許可.
ドア開放時間	0 秒/ 非動作.
ドア無開放時間	0 秒/ 非動作.
キー入力時間	60 秒.
キー無入力タイムアウト時間	120 秒(再度アクティブにするためタグ提示必要).
オペレーションモード	侵入モード.
提示されたタグのタイムアウト時間	10 秒.
理由コード入力	禁止.
理由コードの桁数	2 桁.
リレー#1 (ラッチ) 駆動時間	30 (3 秒).
リレー#2 (アラーム駆動時間)	300 (30 秒).
タグ保有者レベル	0 (ユーザー).
日付	2000 年 1 月 1 日.
タイムパターン	スタート時刻 = 00:00, 長さ = 24 時間 00 分 毎日/週

**Table 2 : システムデフォルト設定**

### 運用モード

4 つのオペレーションモードがシステムで提供されます。これらのうち、2 つは DCU ハードウェア・モード(「ハードウェア・モード」を参照)です。また、2 つはシステム・モードです(「システム・モード」を参照)。

#### ・ ハードウェア・モード

DCU は 2 つのハードウェア・モードのうちの 1 つで作動します:

- ・ 侵入モード.
- ・ アラームモード.

ハードウェア・モードを変えることは管理者タグ保持者によってのみ実行されます。(パラグラフ「プログラミング・モード」を参照)。

#### ・ 侵入モード

インストールされたアラーム・パネルがなく、単純な侵入アラームが要求される場合に、侵入モードは使用することができます。このモードにおいて、リレー#2 はドアオープンセンサーがアクティブで、ユニットが警報設定された場合に、サイレンを鳴らすために使用されます。ドアオープンセンサーが正確な状態である場合、警報設定は正常な操作でのみ可能になるでしょう。

追加のコンタクトセンサーを直列もしくは並列に Input # 1 に入れることにより 1 つのドアから他のドアに設定できます。その、通常オープン、あるいは通常クローズは、管理者(さらに詳しい情報のためにインストーラーを参照する)によってセットすることができます。管理者は、アラームが起きた場合、該当するサイレンのアクティブ時間もセットすることができます。

侵入モード - アラームパネルが無い場合	
Relay #1 (ラッチ)	ドアストライクを操作する
Relay #2 (アラーム)	サイレンを操作する
Input #1 (センサ)	ドアオープンセンサーから
Input #2 (解錠ボタン)	解錠ボタンから

Table 3 : 侵入モードオペレーション

#### ・ アラームモード

アラームモードは、アラームパネルがあるシステムの時に使用します。

アラームモード-インストールされたアラーム・パネルと共に使用。	
Relay #1 (LATCH)	ドアストライクを操作する
Relay #2 (ALARM)	アラームパネルに警報設定、解除のため接続
Input #1 (RDY)	アラームパネルから「レディ」ステータス入力
Input #2 (RTE)	解錠ボタンから

Table 4 : アラームモードオペレーション

#### ・ アラームモード操作方法

アラーム・パネルがシステムにインストールされた場合のみアラーム・モードオペレーションは可能です。この場合、警報設定/解除は DCU の中の relay#2 によってコントロールされます。

入力#1 はもしそれが「Ready」でなければ、アラームが警備設定することができないとともに、アラーム・パネルの「Ready」状態を感知するために使用されます。この「Ready」状態は DEU の LED モードによって表わされ、「Ready」でなければ警備設定させることを防ぐでしょう。

#### ・ システムモード

システムは、2 つのモード(すなわち通常モード、プログラミングモード)のうちの 1 つで作動します:

[a] **通常モード**操作はタグの提示と共にアクセスと理由コード入力を DEU が可能とする

デフォルトモードです。ノーマルモードにおける様々な条件のための、音響的および視覚的な表示は、テーブル1に記述しています。

[b] **プログラムモード**は、管理者タグ保有者の管理の下で入ることができ、タグ・テーブル、セッティングおよび運用上のパラメーターの管理をできます。プログラムモードは、DEU の使用が必要です。その結果、このモードの間、アクセス・コントロールは可能ではありません。

#### 通常モード

このテーブルはタグが示されるか、キーが長い間(長い時間のキー持続押下)(1-3 秒)押される場合、生じるキーと LED の状態を示します。:

条件	DEU の表示		意味
	LED 状態	ブザー	
タグ提示	Red 点灯 + ブリンク Off	Off	ノーマルモード - アラーム警報解除または未準備.
	Red 点灯	Off	ノーマルモード - アラーム警報設定
	Red 点灯 + Green 点滅	Off	ノーマルモード - アラーム警報解除かつ準備完了
	Red の代わりに Orange	断続的な Beep 音.	上記の通常モードで AC 電源が供給されていない.
許可されたタグの提示	Green 点灯	1 秒 ON	Relay#1 がドライブされている間 LED グリーン
許可されていないタグの提示	遅い Red 点滅	2 秒 ON	認識されないタグもしくはアクセスが拒否されている
ピンコード入力待ち	交互に Red / Green 点滅	Off	ピンコード入力待ち.
許可されたピンコードの入力	Green 点灯	1 秒 ON	許可されたピンコードを受け取った.
許可されていないピンコードの入力	早い Orange 点滅	2 秒 ON	禁止されたピンコードを受け取った.
「理由コード」入力待ち	遅い Orange 点滅	0.2 秒 ON	理由コード待ち.
キー押下	-	0.1 秒 ON	キー押下認識トーン.
アラーム開始	Red フラッシュ連続	Off	アラーム開始を表示するフラッシュ.
失敗	早い Red/Green 点滅	Off	失敗状況検出.
プログラミングモード	早い Red フラッシュ	Off	コマンド待ち.

Table 5 : ノーマルモードでの LED / ブザー表示

#### ・ プログラムモード

プログラムモードにおいての、装置は次のパラグラフに記述しました。キーパッドからシステムへプログラムすることができます。

- (a) 500 のユーザ・メモリ位置があり、タグを入力するか、削除するか、交換することができます。
  - (b) タグを入力するか、削除するか、交換する場合、正確な位置が使用されるように、これらの操作は注意深く管理される必要があります。
- よい試行はタグが与えられた人に位置をアサインすることです。このマニュアルの終りにあるテーブル 9 はこれを支援するでしょう。

### 重要なお知らせ

少なくとも 1 つのタグがプログラムモードへのアクセスを制限するために管理者レベルを与えられる必要があります。タグがこのレベルを与えていない場合、どんなタグもプログラムモードへアクセスができます。これは、任意のユーザがシステムをプログラムすることが可能で災難の結果となるかもしれません。

DCU が PC から分離された場合のみ、プログラムモードは使用することができます。

#### ・ 通常操作

- ・ もし有効なタグ(すなわちシステムに入力された一つ)が DEU に提示されていなければ、システムはドア処理アクセスを許可しないでしょう。
- ・ ピンコードがタグのために必要になるように、システムを設定した場合、タグが示された後、これを、キーエントリー時間(これは変更することができます; デフォルトは 60 秒です。)内に入力しなければなりません。そうでなければ、システムはアクセスを否定するでしょう。
- ・ 警報設定した状態中に、有効なピンコードを後に続けて、管理者またはスーパーバイザのタグが示される場合、自動警報解除となります。

ノーマルモードにおいて、DCU はタグの提示もしくは長時間のキー押下検出を待っています。:

- ・ タグを最初に提示することは、ドア処理アクセスの要求、および理由コードかピンコードの可能なエントリーを示します。
- ・ 提示されたタグに続き、ピンコードを後に続けて、長い時間のキー押下は、プログラムモード(管理者レベル・タグはこのために必要になります)を入力するような特別の機能を始めます。
  - キーパッドは、キータイムアウト(これは管理者によって設定することができます; デフォルトは 120 秒です。)の後に非アクティブになり、それを再度アクティブにするためにはタグを再提示要求します。

#### ・ ピンコード、理由コード、アクセスレベル

- ・ アラームを警報設定する責任を持っている管理者およびスーパーバイザ・レベルのタグ保有者のためにピンコードはセット・アップする必要があります。
- ・ ユーザ・レベルタグ保有者のためのピンコードの設定はオプションです。これはアクセス・コントロールのためにタグ保有者単位で設定します。
- ・ どんなタグ・レベルでもタグ保有者に単一のピンコードだけが割り当てることができます。
- ・ タグ保有者に選択されたピンコードは、正常なドア・アクセス(もし要求されれば)およびさらにスペシャルファンクション・キー・操作("スペシャルファンクションキー

ペレーション”参照)のために使用されます。

- ・ ゼロで無いピンコードを割り付けた全てのタグはアクセスするときにピンコードを必要とします。(“スペシャルファンクションキー と 参照 ”)
- ・ ピンコードが特別の機能目的に対してタグに割り当てられており、その特別のタグによって強制されるが、ピンコードが通常のアクセスのために要求されない場合、ピンコード要求は PC ソフトウェアを使用してのみ、そのタグのためにはずすことができます(詳細は IXP 100 シリーズ・ソフトウェア・マニュアル参照)。
- ・ ユーザは自分のピンコードを変えることができますが、削除することはできません。管理者のみがそれらを削除することができます
- ・ **ピンコードモード**

IXP100 システムは、3 つのピンコードモードのオプションを提示します。これらのピンコードモードは時間パターン・セッティングと共に作動します。各ピンコードモードの条件は、下記テーブルに記述されます。

**注意:**アクセスがユーザタグ保有者に許可される場合、「オープン時間」はそれらの時間です;アクセスが管理者とスーパーバイザのタグ・レベルにのみ許可される場合、「制限された時間」はそれらの時間です。

ピンコードモード	タイムパターン	
	オープン時間	制限された時間
モード 1 - 条件付ピンコード	全てのタグが許可  ピンコードはそのタグに設定されている場合タグの提示において入力しなければなりません。現在のタイムパターンがピンコードの入力を強制する場合も同じです。	管理者とスーパーバイザのタグのみ許可
モード 2 - 制限付ピンコード	全てのタグが許可。ピンコードは必要ない。	管理者とスーパーバイザのタグのみアクセス許可。ピンコードはタグにセットされていれば必要。 .
	このモードではピンコード入力強制 / 不要のタイムパターンは無視される。	
モード 3 - ピンコードのみ	全てのタグが許可。グローバルなピンコードによるアクセスがタグの提示なしで許可される。	管理者とスーパーバイザのタグのみアクセス許可。ピンコードはタグにセットされていれば必要。 .
	このモードではピンコード入力強制 / 不要のタイムパターンは無視される。 .	

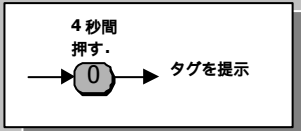
## オペレーションについて記述するフローチャートの使用

次のテキストでは、様々な操作を完成するために行わなければならない操作のシーケンスを示すためにフローチャートが活用されました。フローチャートに精通していない人々にとって、ここに、それらを使用する方法の説明があります。実際の例が使用されています。

### 例 1

#### アラーム警報設定/ スーパーバイザーによるロック

このシーケンスは、アラームモードにおけるアラームを警報設定させるか、あるいはスーパーバイザがドアを侵入モードにロックすることを可能にします。

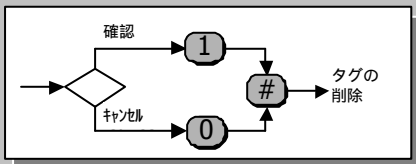
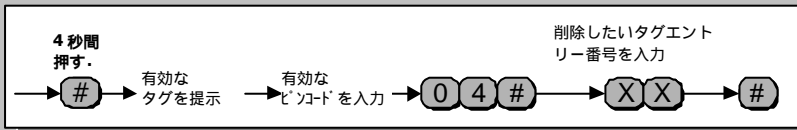


これが意味するところはアラームを警報設定する (例) ためにタグ保有者は次のことをしなければなりません:

- [1] '0' キーを4秒間押す.
- [2] 許可されたタグを提示.

### 例 2

#### タグ保有者を削除(ロケーションを知っている場合) ? Command Code 04



このファンクションを実行するために、管理者は:

- [1] '#' キーを4秒間押す.
- [2] 管理者タグを提示.
- [3] 有効なピンコードを入力し、04#を押す
- [4] 削除するタグに対応したテーブルエントリー番号を入力
- [5] '#' キーを押す
- [6] 管理者はどちらかを選択できる:
  - (a) '1' を押すと削除を確認
  - (b) '0' を押すと削除をキャンセル

[7] 6(a) または 6(b)の後に “#” を押す。

これらの方法は、このマニュアル中のすべてのフローチャートに当てはまります。

**注意：**パンフレット「XP 100 オペレーションクイックガイド」はあなたがより通常の実行したい場合、これらのダイアグラムが入っています。

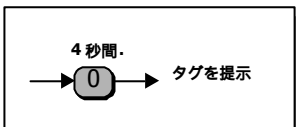
#### ・ アラーム警報解除/スパー・バイザによるアンロック

アラーム警報解除のピンコード（管理者およびスパー・バイザのみ）は通常のアクセスのピンコードです。DCU は警報設定/解除の状態を記憶しており、従って警報解除のための違うコードは必要ありません。この機能は自動的に DCU において実行されます。

#### ・ アラーム警報設定/スパー・バイザによるロック

このシーケンスは、アラーム・モードにおけるアラームを警報設定させるか、あるいはスパー・バイザがドアを侵入モードにロックすることを可能にします。

このアラーム警報設定は “スペシャルファンクションキー” 設定で実行され、ここでタグ保有者は：



全てのアラームパネル警報設定権限をもつユーザーレベルタグホルダーはピンコードを持たなければなりません。

#### ・ 理由コードの使用

あるアプリケーションでは、アクセス・プロセスの一部としてタグ保有者によって理由コードが入力されることが必要かもしれません。

理由コードはタグを提示し、ピンコード(それはオプションで、システム・セット・アップによって要求するかしないか設定できる)が入力された後、入力される 2 桁の数字(デフォルト長さ)コードです。

理由コードの配置は各タグ保有者の基礎（ピンコードとして）とタグの追加削除のプログラミングプロセスの部分としてあります。（これは管理者レベル）

理由コードがシステムによって要求される場合、DEU は、LED および(または)ブザー（詳細に関してはテーブル 2 を参照）によってこのコードのエントリーを促すでしょう。また、タグ保有者は、キーエントリー時間(条件設定パラメーター デフォルトは 60 秒)内に理由コードを入力することを要求されるでしょう。一旦理由コードが入力されたならば、ドア・アクセスのみ認めるでしょう。



## ・ 警告提示 - 警報設定 / 警報解除

タグ保有者 (管理者&スーパーバイザ)のみ、それらタグおよびピンコードによってアラームを警備設定、警備解除することができます。

ユーザータグのアラーム警報設定はタグを追加、編集するときにおのこのタグに設定可、不可とできます。警報設定解除が認められていないタグ保有者は一旦アラームが設定 (警報設定) されると施設に入ることを阻止されます。

ブザーおよび LED によって与えられた表示は、アラームがそうかどうか示します、レディか/警報設定/警報解除またはアラーム開始 (詳細は Table 2 を参照)。

システムが警報設定した状態である場合、管理者かスーパーバイザ・タグだけが受理されるでしょう。また、DEU は、理由コード(もしあなたのシステムが要求すれば)の入力を後に続けて、ピンコードの入力を促すでしょう。

一旦正確なピンコードの入力が入力されたならば、理由コード(もし要求されれば)に加えて、DCU は Relay#2(その定義されたモードによる)を ON するでしょう。ハードウェア条件モードがアラーム・モードである場合、これはアラーム・パネルに警報解除するように伝えるでしょう。その後、DCU は、あらかじめ設定されたパラメーターによるドア・ストライク用の Relay#1 を ON するでしょう。

アラーム(現在のアラーム・ステータスが警報解除されている場合に)を警報設定させるために、特別な機能のキー (スペシャルファンクションキー) 押下が使用されます。特別な機能のキー押下は 4 秒の間キーを連続的に押すことです。

## ・ 警告提示 - アクセ

システムは、DCU の内部状態によってアラームが警備設定されているか警備解除されているかどうか最初に確認します。

タグが提示された場合、内部アラーム・ステータスが警報解除であれば、ピンコードが義務的ではないという場合を除いて、管理者およびスーパーバイザ・レベル・タグの両方で Relay#1 は ON されるでしょう、ユーザ・タグが提示された場合、DCU は最初に有効な時間パターンをチェックするでしょう。

時間パターンは、単一のアクセス期間/日が提供されます。これはユーザーレベルのタグ保有者がタグの提示とピンコードの入力 (システムが必要とすれば) の後アクセスを許可されるものです。時間パターンは、スタート時間および持続時間(それはその週の毎日間異なることができる)のエントリーを必要とします。

時間パターンは管理者レベルタグ保有者のみによって編集、入力することが出来ます。デフォルト時間パターンは、24 時間/日、7 日/週アクセスを許可しています。

## ・ 誤ったピンコードの入力

ピンコードが与えられたタグにおいて不正確に 3 回連続してピンコードを入力された場合、そのタグは、あらかじめ設定されたブラックリストタグ・タイムアウト時間の間拒絶されるでしょう(「ブラックリストタグ・タイムアウト」を参照)。

DCU は、正しくないピンコードを記録した 10 までのタグのテーブルを管理します。このテーブルは FIFO(ファーストイン・ファーストアウト)方式で作動します。タグのブラックリストされた状態は、タグ・データを編集する管理者によって取り除かれます。

#### ・ ドア強制こじ開け / ドア開放放置 / ドア不開放

システムは次のことが感知できます。ドアがノーマルアクセスの後閉まらなかったかどうか、ノーマルアクセスの後開けられなかったかどうか、またはドアがノーマルアクセスなしでこじ開けられたかどうか。(これは侵入モードでドアセンサーがダイレクトに DCU に接続されている場合です。あなたのシステムがこのケースかチェックしてください。)

ドア開放放置イベントはドア開放放置時間(これは設定できるパラメーターでデフォルトは 0 秒/非動作)が終了しドアセンサーが連続的にオープン状態を示したとき発生します。このイベントは適切な処理で終わり、またブザーのサウンドで 10 秒もしくはドアが閉まるまで表示されます。

ドア不開放イベントはドアがドア不開放時間(設定パラメーター デフォルト 0 秒/非動作)が終了したとき示されます。このイベントは適切な処理のみで終わるでしょう。

ドアこじ開けイベントは前述の許可された処理なしにドアセンサーが働いたとき自動的に表示されます。もしアラームが警報設定になっていれば自動的にアラームを開始します。このイベントは 10 秒間もしくはドアが閉まるまで急速なブザーサウンドで表示されます。

#### ・ スペシャルファンクションモード (長時間キー押下)

連続的な 4 秒間(条件設定可)のキー押下は DCU をスペシャルファンクションモードにし、その後許可されたタグの提示に続くピンコードの入力(ここでは理由コードは当てはまらない)が必要です。

タグの提示はキー押下後 10 秒(条件設定可)以内に行われなければいけません。そしてピンコードがタグ提示のキー入力時間内に入れなければなりません。システムは警報解除モードである必要があります。

Table 6 可能なスペシャルファンクション :

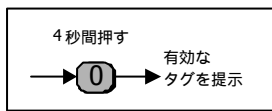
Key	内容
0	権限を持つタグとピンコードを通常用いた警報設定
1	管理者あるいはスーパーバイザ・タグとピンコード不使用の警報設定
2	全てのキーのピンコード不要 - 管理者又はスーパーバイザのみ設定
3	ピンコードが設定されたタグの入力強制 - 管理者又はスーパーバイザのみ設定
4	トグル LED on/off、DEU がスタンバイ時 - 管理者又はスーパーバイザのみ設定
5	全ての通常タグ使用禁止 - 管理者又はスーパーバイザのみ設定
6	全ての通常タグ使用復帰 - 管理者又はスーパーバイザのみ設定

Key	内容
7	全てのスーパーバイザタグ使用禁止 -管理者のみ設定
8	全てのスーパーバイザタグ使用復帰-管理者のみ設定
9	ドアのロック・アンロック トグル-管理者又はスーパーバイザのみ設定
*	タグ所有者のピンコード変更。許可されたタグと現在のピンコードによる
#	管理者タグ+ピンコード

**Table 6 : スペシャルファンクションキー**

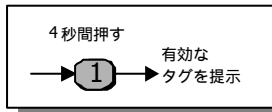
・ **アラーム警報設定/スーパーバイザーロック**

通常のアラーム警報設定はアラームが“準備完了”であることを必要とします。この状態で Input #1 はアラームが準備完了か決定されます。



この場合有効なタグは全てのタグ所有者レベルで適切な警報設定権限フラグがセットされたものです。-管理者とスーパーバイザータグ所有者は常にこのフラグがセットされており自動的に警報設定権限があります。

いくつかの環境下では準備完了で無い場合アラームをバイパス警報設定する必要かもしれません。たとえばアラームパネルがひとつのよく失敗するゾーンをもちしかし他のゾーンでは警報設定機能が必要な場合です。



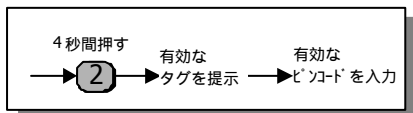
この機能は管理者およびスーパーバイザのみに制限されます

警備設定ではキーパッドは使用不能でラッチリレーはそのとき ON していても OFF される。

・ **ピンコード不利用 / 強制**

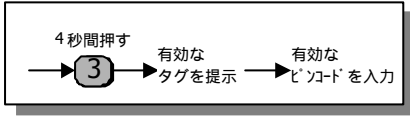
この機能は通常アクセスにおけるピンコード入力の不利用を行うと共にドアが煩雑に使用されタグが十分に提示される時便利です。

全てのタグのピンコード入力が不用となります:



この機能は管理者およびスーパーバイザのみに制限されます

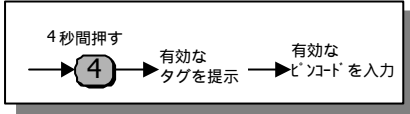
ピンコードの通常操作:



この機能は管理者および  
スーパーバイザのみに制限されます

・ **ステータス LED 中止**

DEU が LED の点滅によってそれ自体に注意を引き付けるのを防ぐために、静かなモードへステータス LED をセットすることは可能です。静かなモードでは、タグが提示されるのを待つ間、あるいは長い持続キー押下の状態までステータス LED を OFF 状態にします。

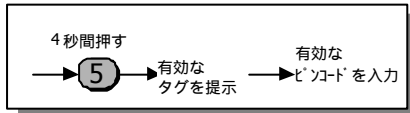


この機能は管理者および  
アドミニストラータのみで設定され、状態は  
トグルします

侵入モードの間に、アラームが起きた場合、ステータス LED は静かなモードを無視し、通常の方法の表示を行います。

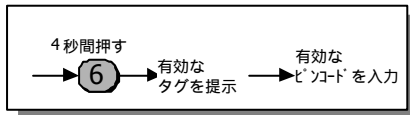
・ **タグ中断**

ある状況の下では、一時的にユーザ・レベルタグ保有者をすべて停止することが必要かもしれません。



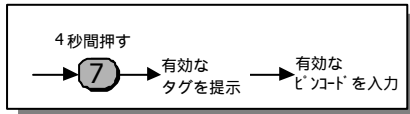
この機能は管理者および  
スーパーバイザのみに制限されます

ユーザーレベルタグ保有者の停止キャンセル:



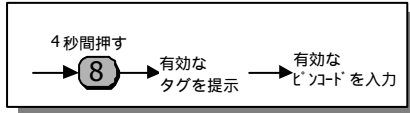
この機能は管理者および  
スーパーバイザのみに制限されます

スーパーバイザタグレベル保有者に対する似たような停止が出来ます:



この機能は管理者のみに制限されます

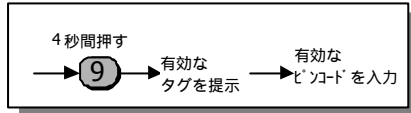
スーパーバイザタグレベル保有者に対する停止のキャンセル:



この機能は管理者のみに制限されます

## ・ ドアロック / アンロック

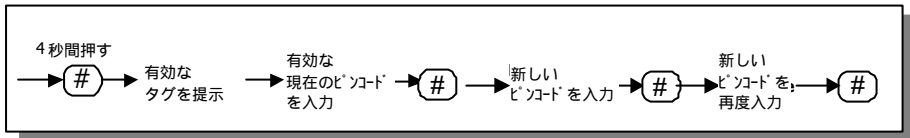
ある状況の下では、アンロック状態でドアを維持することが必要かもしれません。警報解除された状態にある場合だけこの機能はアクセスすることができ、アラーム警報設定した場合、ドアをロックされた状態にリセットします。



この機能は管理者およびスーパーバイザのみに制限されます

## ・ ピンコードの変更

タグ保有者はすべて、管理者またはスーパーバイザレベルのタグ保有者からの援助なしでピンコードを彼ら自身で変更することができます。アラームが警備解除された状態である間のみ、この機能はアクセス可能です;さらに、タグ保有者は既にピンコード持っている必要があります。タグ保有者は続くこのシーケンスにより新しいピンコードを設定することができます:



両方のピンコード入力がエラーなしでなされた場合のみ、新しいピンコードは受理され記憶されます。

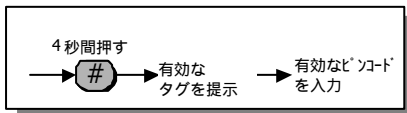
## ・ AC 電源フェイル

DCU は、AC 電源フェイルを検知し、5 分(設定可能パラメーター)を越える切断期間の後に DEU で音響的/視覚的なレスポンスを生成します。DCU フラッシュ上の緑の LED および DEU の上の LED は、停電直後に赤からオレンジに変わります。ブザーは、5 分の後に断続的に鳴るでしょう。

一旦 AC 電源が回復されたならば、コンディションは自動的にクリアされるでしょう。処理は各 AC 電源のフェイルと回復でログされるでしょう。

## プログラムモードへ入る

プログラムモードに入るために、管理者レベルタグ保有者は次のことを行わなければなりません。:



プログラムモードの機能は“プログラムモード”に記載されています。

キーが、60 秒(これは変更することができます。「キーエントリー時間」を参照してください。)の間押されない場合、プログラムモードを自動的に出ます。

## プログラミングモード

全てのプログラミングモード操作は管理者レベルのタグ保有者によってなされます。

### ・ 一般的な編集機能

プログラムモードにおいて、次のキーシーケンスが全体にわたって適用可能になります：

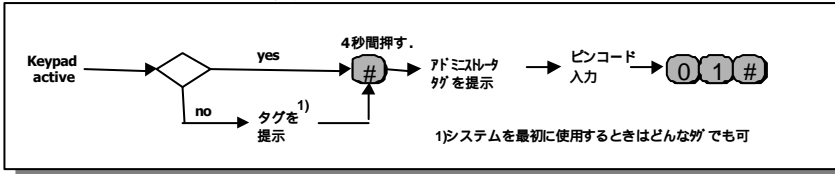
- ・ **(\*)** キーを押すことによってパラメーターの再入力準備が出来ている現在のプログラミング機能をクリアします。
- ・ **(\*)** キーを 2 度連続して押すと現在のプログラミング機能から出て、プログラムモードに戻ります。
- ・ **(\*)** キーを 3 回連続して押すとは完全にプログラムモードから出ます。
- ・ **(#)** キーを押すことは現在のエントリーを受理し、緑の LED によって示されて、エントリーが有効な場合、次のステップに移ります。
- ・ **(#)** キーは特定の選択がなされない場合、# は自動的にデフォルトを選択します。
- ・ キーエントリーの入力は RED LED の早いフラッシュで示されます。

See next page

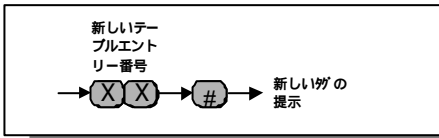
## ・ タグ所有者の追加 – Command Code 01

タグはシステムに一つだけ入力することができます。また、既存のタグを再び入れるどんな試みもエラー・レスポンスになるでしょう。各タグはタグ・テーブルの中で一つの固定エントリーを占領します。また、このエントリー・ポイントは管理者が手動で記録します。

### プログラミングモードへ入る

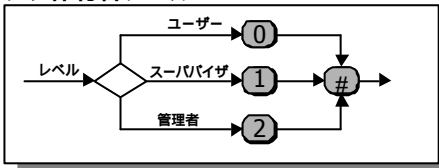


### テーブルエントリー入力



⊛ キーを一度押すと入力した数字はキャンセルされもう一度数字を最初から入れることが出来ます。

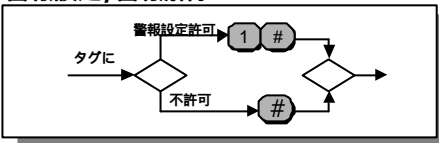
### タグ所有者レベル



正しくない値を入れるとエラーシグナルとなり管理者は再びタグ所有者レベルを入れる必要があります。

タグ所有者レベルを入れなくて ⊛ を押すとデフォルトの 0 となります。

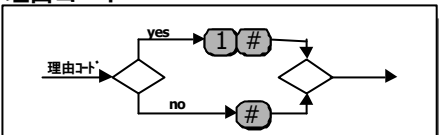
### 警報設定/警報解除



値なしで # を押すとシステムデフォルトとなります。

ユーザー : 警報設定不許可  
スーパーバイザ、管理者 : 警報設定許可

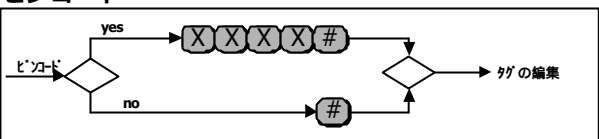
### 理由コード



値なしで「#」を押すとシステムデフォルトとなります。

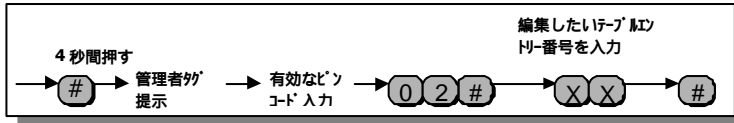
一度上記フラグが入力されるとシステムは有効な理由コードを要求します。(全ての要求されるキ入力は速い赤 LED のフラッシュで示されます)

### ピンコード

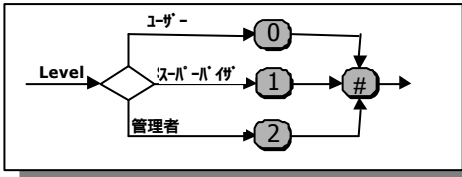


ピンコード(4桁、管理者とスーパーバイザには必須)

・ タグ 保有者の編集 – Command Code 02



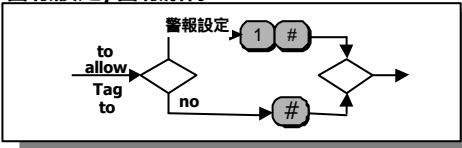
タグ 保有者レベル



誤った入力を行うとエラーとなり、管理者はタグ 保有者レベルを再入力する必要があります。

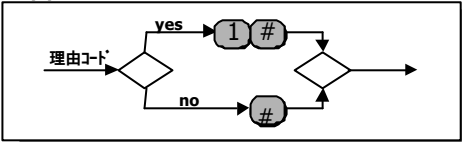
タグ 保有者レベルなしで # を押すと現在のタグ 保有者レベルは変更されません。

警報設定 / 警報解除



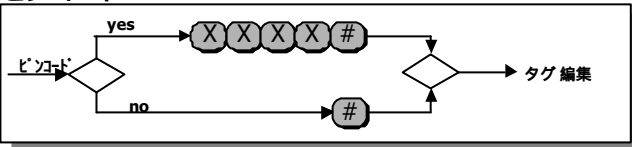
タグ 保有者レベルなしで # を押すと現在の値は変更されません。

理由コード



タグ 保有者レベルなしで # を押すと現在の値は変更されません。

ピンコード

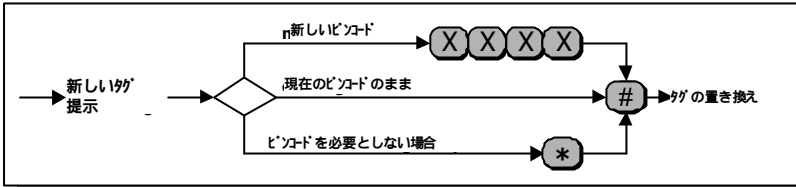
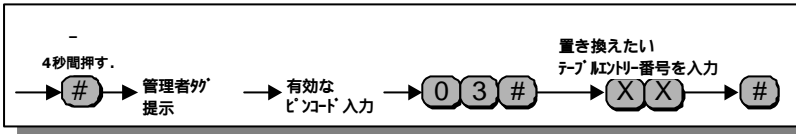


ピンコード(4桁, 管理者とスーパバイザには必須)

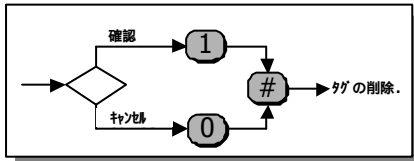
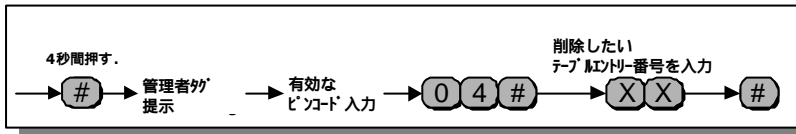
値なしで # を押すと現在のピンコードのまま



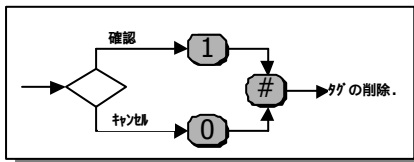
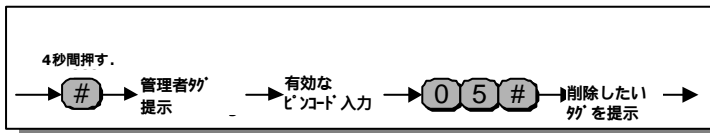
・ **タグの置き換え – Command Code 03**



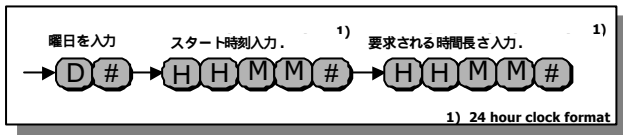
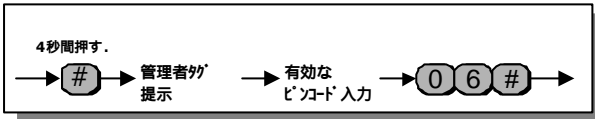
・ **タグ保有者の削除 (タグIDがわかっている場合) – Command Code 04**



・ **タグ保有者の削除 (タグIDがわからない場合) – Command Code 05**



・ タイムゾーン – Command Code 06



- (D)** ... Day of the week  
1 = Sunday to 7 = Saturday
- (H)** ... Hour
- (M)** ... Minute

**NOTES:**

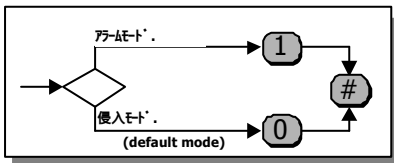
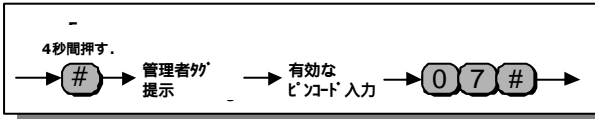
1. # の前に \* を押すとそれ以前のキー入力をキャンセルし、再入力することができます。
2. スタート時刻と時間長さは自動的に許される値がチェックされ、もし正しくない場合はエラーレスポンスを返します。(遅い RED LED の点滅とブザー 2 秒間)

次のルールがタイムゾーンに適用されます。:

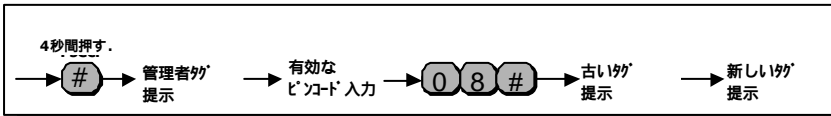
- (a) タグ・アクセスは、スタート時間から時間長さまでの間でできます。
- (b) スタート時間および時間長さのコンビネーションが次の日へ伸びる場合、これは次の日の準備ができていたスタート時間に上書きされるでしょう。

デフォルト時間パターンはスタート時間=00H00(持続時間=24H00)でその週の毎日です。

・ アラームの変更 – Command Code 07

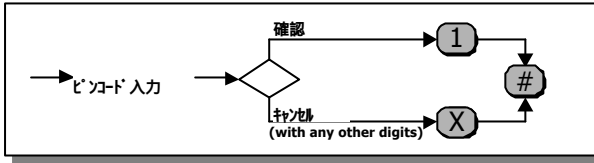
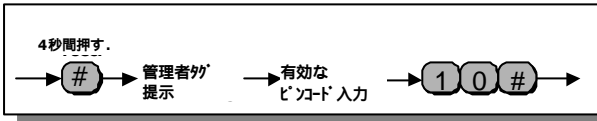


・ 古いタグの置き換え (古いタグ使用可の場合) – Command Code 08



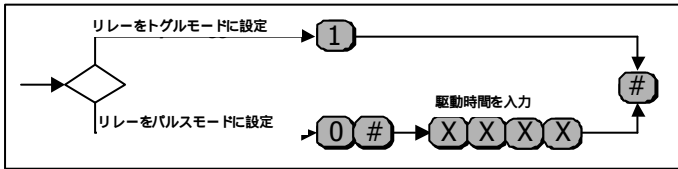
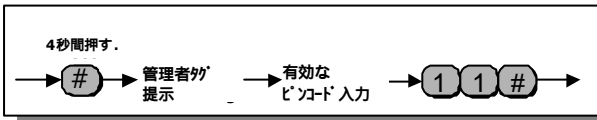
新しいタグがタグテーブルの中で重複していないかチェックされます。

・ 処理テーブルの削除 – Command Code 10



この機能は全てのが 通行バッファのクリアのために働きます。

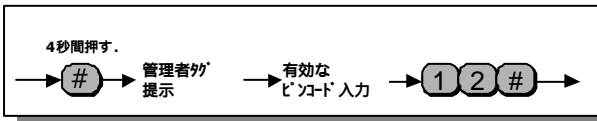
・ Relay#1 (ラッチ) 駆動モードと時間の変更 – Command Code 11

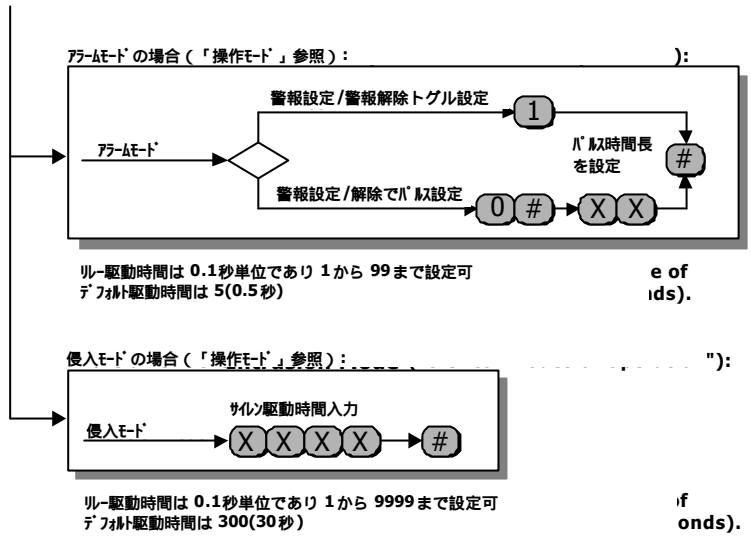


リレー駆動時間は 0.1秒単位であり 1から 9999まで可  
 デフォルト駆動時間は 30(3秒)

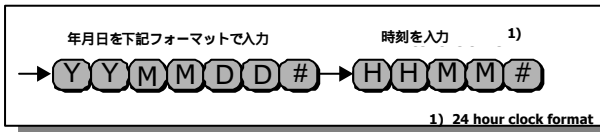
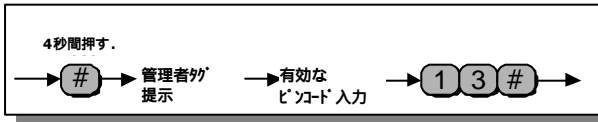
0を設定すると\*を提示している間、リレーはONします。  
 駆動時間のつぎに#を押す必要があり、\*でクリアされます。

・ Relay#2 (Alarm) ドライブモードと時間の変更 – Command Code 12





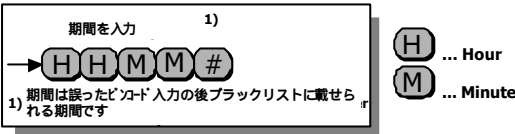
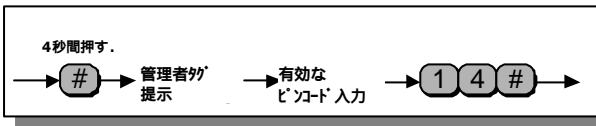
・ リアルタイムクロックの設定 – Command Code 13



- |             |              |
|-------------|--------------|
| Y ... Year  | H ... Hour   |
| M ... Month | M ... Minute |
| D ... Day   |              |

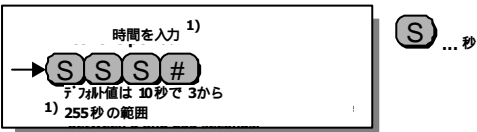
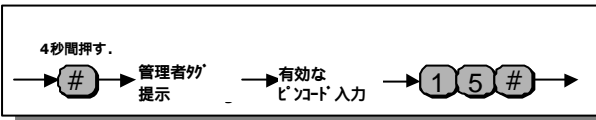
システムは、時間および日付の有効性をチェックし、有効でない場合エラーレスポンスを出します。有効な時間および日付はリアル・タイム時計をリセットします。デフォルトの時間および日付は 2000 年 1 月 01 日です。

・ **ブラックリストタグタイムアウト期間の変更 – Command Code 14**



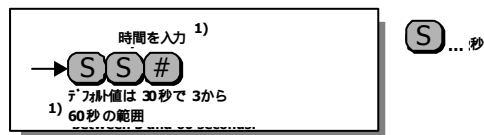
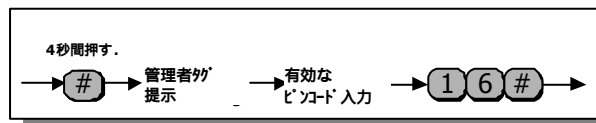
期間はエントリーの後に有効性があるかチェックされます。これはタグを妨げて指定された期間受け付けません。デフォルト値は 0030(0 時間 30 分)で最大 2400(24 時間)です

・ **提示されたタグのタイムアウト時間変更 – Command Code 15**



このパラメータは、タグがシステムによって促された後に提示される必要がある期間を定義します。このパラメータは、タグが提示を要求される全体にわたって適用可能です。

・ **キー入力タイムアウト時間変更 – Command Code 16**

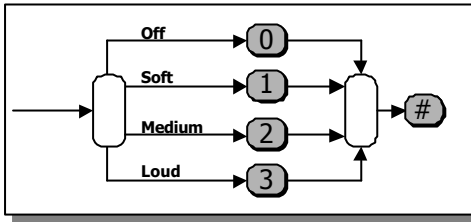
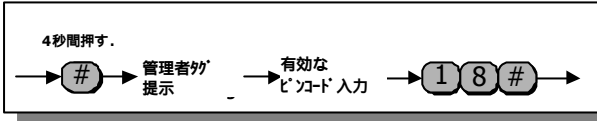


このパラメータは、システムによってうながされた後にピンコードまたは理由コードを入力しなければならない期間を定義します。このパラメータは、ピンコードまたは理由コードが要求される全体にわたって適用可能です。

・ **アラーム準備完了入力センサ-変更 - Command Code 17**

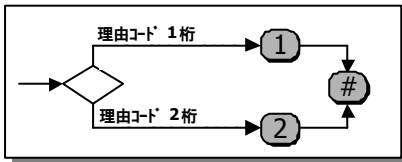
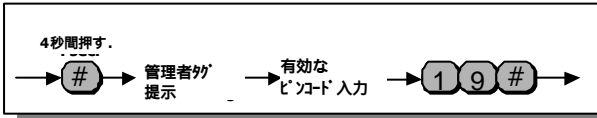
入力#1 は、選択されたアラーム・モードあるいは侵入モードによって作動します。また、必要なモードは、入力#2 を選択するに先立って選択される必要があります。

・ **ブザー-音量の変更 - Command Code 18**



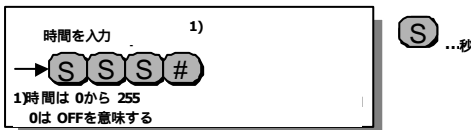
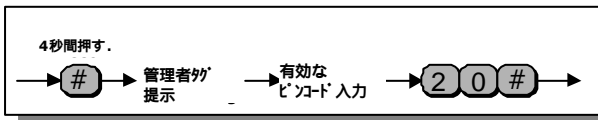
デフォルト値は 3. 3.

・ **理由コードの桁数変更 - Command Code 19**



デフォルト長さは 2桁 5.

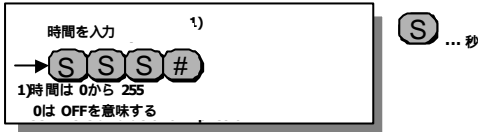
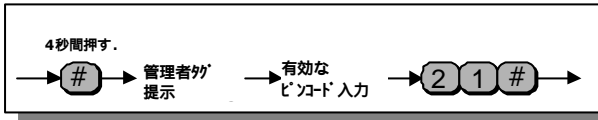
・ **ドア開放放置時間変更 - Command Code 20**



デフォルト値は 30秒

この機能はドアオープンセンサ が ON となりアラームとなる条件に至る前の期間を決めます。

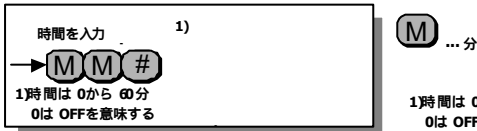
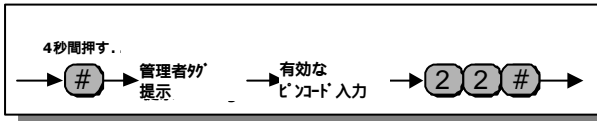
・ ドア不開放時間変更 – Command Code 21



デフォルト値は 30 秒

この機能は通常アクセスの後ドアオープンセンサ が ON とならずアラームとなる条件に至る前の期間を決めます。

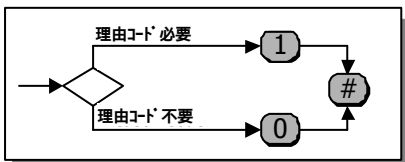
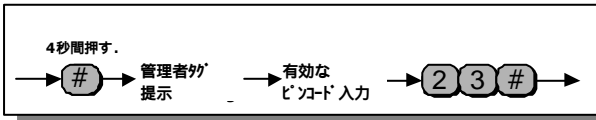
・ AC 電源フェイルアラーム時間の変更 – Command Code 22



デフォルト値は 5 分

この機能は、フラグがアラーム条件となる前に AC 電源がフェイルしている期間を決定します。

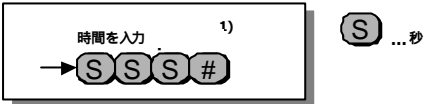
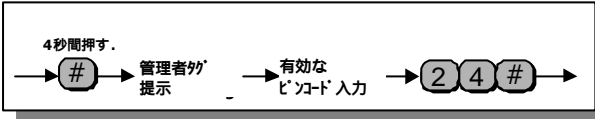
・ 理由コード要求変更 – Command Code 23



デフォルト値は 0

この機能は 理由コード入力が必要かどうか決定します。

・ スパシャルファンクションキー-押下時間の変更 – Command Code 24

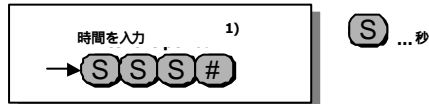
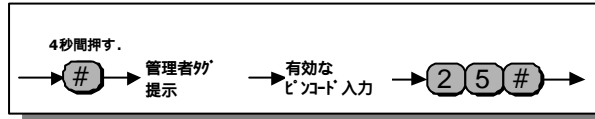


1) 時間は 0.1秒単位で 20から 100  
デフォルト値は 30(3秒)

ef

この機能は、条件がスパシャルファンクションキー-押下と認められる前にキーボード上のボタンが押され続ける期間を決定します。

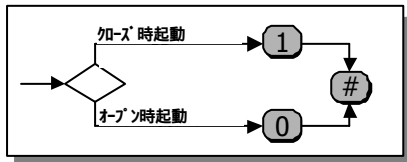
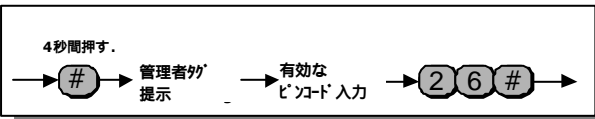
・ キー押下が無いことによるタイムアウト時間変更 – Command Code 25



1) 時間は 10から 255  
デフォルト値は 120(秒)

この機能は、次にタグが提示されるまでキー押下がキーボード DEU でもはや認識されない期間を決定します。

・ 解錠入力要求切り変更 – Command Code 26



デフォルト設定は 1

L.

この機能は解錠要求入力の論理アケイブ 状態を設定します。

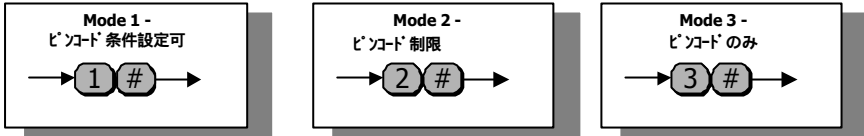


・ **クイック設定 – Command Code 27**

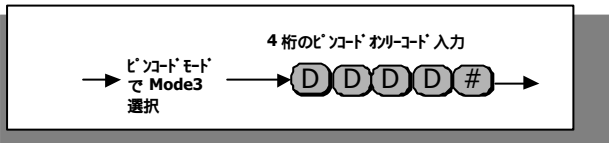
このモードを使用する条件は:

- (a) このコマンドを受け付けるためにはタグデータベースは完全に空で無ければなりません。
- (b) 最初に提示されたタグは管理者タグとなりピノードは9999でテーブル配置番号は1となります。
- (c) その次のタグはテーブル配置番号2から順番に配置されユーザータグとなります。

ピノードモード – Command Code 28



・ **ピノードのみ設定 – Command Code 29**



このモードでは4桁のピノード入力のみが許されタグの提示は必要ない。

・ **処理タイプ**

テーブル 4 はシステムに適用可能な様々な処理タイプを識別します。処理タイプの各々は処理バッファメモリーを最適化するために PC ソフトウェア・プログラムによって選択するか非選択することができます。次の処理タイプは、処理の配置に依存するタグ・プレゼンテーションに記録することができます:

CONDITION	DEFAULT
アクセス許可 – 理由コードなし	On
アクセス許可 – 99までの理由コード	On
アクセス禁止 – 知られていないタグ	On
アクセス禁止 – 禁止された時間	On
アクセス禁止 – 理由コードなし	On
アクセス禁止 – タグブラックリスト	On
アクセス禁止 – 中断	On
警報設定が許可されていない	On
警報設定拒絶 – 警報が準備されていない	On
警報解除が許可されていない	On
ブロードラングモード禁止	On

CONDITION	DEFAULT
ブザーラミナモード許可	On
スペシャルファンクションアクション	Off
アラーム警報設定 - 通常	On
アラーム警報設定 (ハイパス)	On
アラーム開始	On
解錠入力	Off
ドアこじ開け	On
ドア不開放	On
ドア開放放置	On
タパ -	On
電源 ON	On
AC電源フェイル	On

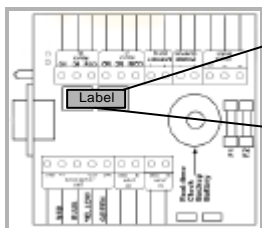
**Table 7 : 処理タイプ**

### ・ 設置担当者技術機能

一旦システムがインストールされたならば、メンテナンスに備えるために、次の技術的な機能を管理者レベル・アクセスあるいはどんなタグも要求せずに実行することができます。これらは、設置専門家によって通常実行されるでしょう。:

- ・ データベースの削除
- ・ DoorEntryUnit(DEU)の置き換え.
- ・ 工場出荷初期値の再設定
- ・ DoorControlUnit(DCU)のファームウェアアップグレード

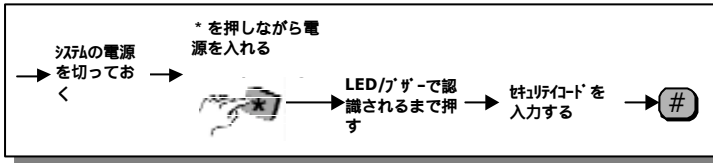
これらの機能に対するアクセスを制限するために、次の指示によって示されるようにユニークなセキュリティ・コードを入力しなければなりません。このセキュリティ・コードはDCU 固定アドレス(以下を参照)です。



**注意:** DCU の内部のリレーのラベル上にあるユニークなセキュリティ・コードは、これらの機能のうちのいくつかのために使用されます。このユニークなコードはDCU のための固定アドレスです。

### ・ データベースの削除

ある状況の下では、下に示されるような DCU 中のタグ・テーブルからタグ保有者(タグ保有者設定を含んで)をすべて取り除くことが必要です。:



その後、タグ・データ・ベースは削除されるでしょう。また、システムは正常なモードに戻るでしょう。

**NOTE :** hexadecimal は DCU の固定アドレスです。

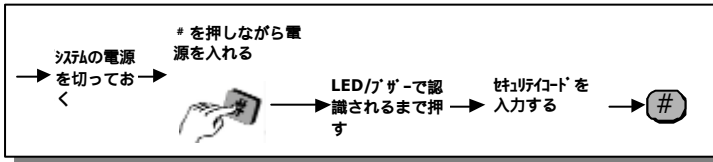
### ・ DEU の置き換え

DEU あるいは DCU のいずれかが交換される場合、再適合させることを自動的に出来ます。

電源がシステムから切れている間に、適用可能なユニットに置き換えます。一旦新しいユニットが接続されたならば、電源を ON します。DCU は、自動的に DEU とのコミュニケーション不可を検知し、認証コードのために新しいユニットに質問します。

### ・ 工場出荷初期値の再設定

ある状況の下では、工場出荷初期値へシステムをリセットすることが必要かもしれません。



工場出荷初期値が再設定されるでしょう。システムは正常なモードに戻るでしょう。

## DoorControlUnit(DCU)のファームウェアアップグレード

DCU のファームウェアアップグレードを実行するために、機能を PC ソフトウェア・プログラムから始めなければなりません。

### ・ PC ソフトウェアによる設定

下記機能は PC ソフトウェアから設定され、DEU によって設定することができません。:

- ・ 記憶する処理タイプ の選択
- ・ リアルタイムロックのキャリブレーション(適用可能な場合)
- ・ データベース名の決定 (適用可能な場合)
- ・ 各々のタグ 保有者に対するピコード 必要か否かの設定

### ・ タグ保有者記録

次のページのユーザタグレコード・テーブル(テーブル 8)は DCU データ・ベースに各メモリ位置に格納されたタグ保有者の詳細を記録するために使用されることになっています。これらのページのコピーを作り、あなたのレコードのためにこれらを使用するようお勧めします。









## USER'S NOTES



## USER'S NOTES

### APPLICABILITY OF THIS MANUAL

The last two digits of the standard Impro stock code indicate the issue status of the item concerned. This manual is applicable to the IXP 100 Series System 101, stock code IXP900-1-0-GB-00 onwards. The next issue of this manual will determine the final equipment issue to which this manual issue is applicable.

*Please advise us of any errors or omissions in this manual to enable us to improve our service to you.*



Thank you for choosing Impro products to implement your security or asset management systems.

Impro Technologies design and manufacture a wide range of technically advanced, high-quality, reliable Access Control and Asset Identification and Management Systems. Please contact your distributor to find out more about our products, or advise us of your needs for specialised products not yet in our extensive and continually expanding range.

IXP314-0-0-GB-02	Issue 3	November 2001	k:¥Custman¥ Ixp 100 series¥ English Manuals¥ ixp100_sys[CE]-usrm-en-03.doc
------------------	---------	---------------	--